

みんなのダンボールコンポスト事業

団体名 行田環境市民フォーラム

実施期間 令和 4年 5月23日 ～ 令和 4年8月23日（実施日 8月23日）

助成分野 ■ ひとの元気 □ 地域の元気 ■ まちの元気

1 事業の目的

成分の約81%が水といわれる「生ごみ」に焦点を当て、家庭から出る生ごみを、微生物の働きで野菜を育てる栄養に変える道具＝コンポストを環境にやさしいダンボールで作ることにより、家庭からできる循環型の暮らしの一手法を学ぶことを目的として、「みんなのダンボールコンポスト事業」を実施した。

2 実施内容

「みんなのダンボールコンポスト事業」の実施

日時: 令和4年8月23日(火)コロナ対策の為午前の部と午後の部の2回に分けて実施。

会場: 講義…コミセンみずしろ1階102会議室

ダンボールdeコンポスト制作…コミセン1階ギャラリー

内容:

夏休み中の小中学生、親子、一般市民を対象に、「ダンボールコンポストアドバイザー」の白倉俊也講師より、ダンボールコンポストの作り方の講義を受講後、隣接のギャラリーに移動し、実際にダンボールコンポストをワークショップ形式で制作。

最後に、行田市環境課課員より、「行田市のコンポスト等に関する助成金制度の簡単な説明を受けた。(ダンボールコンポストキットを20キットを講師より購入)

その他:

本事業実施に当たって、行田市社協募集の「彩の国ボランティア体験プログラム」に応募し、4名の中学生ボランティアと、地域活動推進課のインターン生を1名受入。

広報活動:

本事業の実施に伴う広報活動を開催日に併せて実施。

(市報ぎょうだ2022年8月号 掲載、チラシ&ポスターを作成)

参加状況:

午前の部: 7キット (小学生2名、中学生2名、保護者3名、一般3名)

午後の部: 11キット (小学生7名、中学生1名、保護者5名、一般4名)



3 事業費と主な支出内容

資料2

- (1) 事業費:総額90,750円 (内やる気応援助成金45,375円)
- (2) 支出の主な内容
 - 1) 講師謝金 20,000円 (交通費、昼食代込み)
 - 2) ダンボールコンポストキット 48,000円 (@2,400×20キット、講師より買取)
 - 3) 広報費 17,100円 (チラシデザイン料10,000円、千枚印刷代5,180円、ポスター拡大コピー代1,920円 (@80×24))

4 事業の成果と今後の課題など

■事業の成果

- 1)参加者の子どもたち、親子、一般市民が、環境に優しい「たのしい循環生活」の一手法を学び、気づきをいただくことができた。
- 2)この事業を継続実践していただくことで、行田市において、地球にやさしい「持続可能な暮らし」を実践する市民やご家庭を少しずつだが増やせることを確信できた。
- 3)さらに、この事業を継続することにより、学び・実践した市民が増えていくことで、行田市が2022年1月に宣言した「ゼロカーボンシティ宣言」の中での「市民の役割」の一端を担う可能性が期待できると確信が持てた。
- 4)この事業に行政、市内のダンボール製造業者、ものづくり大学、テクノ・ホルティ園芸専門学校、農協等を巻き込むことにより、小規模だが「産官学民のプロジェクト」が生まれることが期待できる。

◎副次的効果:今回社協の中学3年生ボランティア1名の方が、ボランティア活動終了後キットを購入したいとのこと申し出あり、喜んで500円でお譲りした。本事業をボランティアプログラムに応募して良かったと思った。

■今後の課題

- 1)今回行田市教育委員会の後援をいただいたにもかかわらず、市内小学校にチラシを配布する機会を失った。実施内容(時期、参加費、方法等)を再検討し、行田市教育委員会との連携をとっていきたい。
- 2)収支に寄付金収入を見込んだが、人的・時間的問題もあり、集められなかった。この事業が持続可能な事業となるためには、実施スケジュールや方法を再検討し、市内ダンボール製造会社やリサイクル関連会社との連携(後援、共催等)を図ることが必要と考える。

